



平成 20 年 10 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ビックカメラ  
代表者名 代表取締役社長 宮嶋 宏幸  
(コード番号：3048 東証一部)  
問合せ先 常務取締役経営企画本部長  
兼経理本部長 金澤 正晃  
T E L 03-3987-8785

## 特別損失の計上ならびに平成 20 年 8 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 8 月期において下記のとおり、特別損失の計上についてお知らせするとともに、平成 20 年 4 月 14 日の中間決算発表時に公表いたしました平成 20 年 8 月期通期業績予想を修正いたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上

##### (1) 投資有価証券評価損の計上について

平成 20 年 9 月 1 日付「平成 20 年 8 月期末の投資有価証券評価損に関するお知らせ」にて公表のとおり、当社の保有する「その他の有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落した株式について、投資有価証券評価損として 3,176 百万円（連結および個別）を計上いたします。

##### (2) 関係会社株式評価損の計上について

当社連結子会社である日本BS放送株式会社につきまして、当社保有の株式に対する評価損として個別財務諸表において 2,848 百万円を計上いたします。

##### (3) 貸倒引当金繰入額の計上について

当社は、池袋東口カメラ館（旧池袋東口駅前店）として賃借している物件の入居保証金の保全のため、不動産所有者である株式会社ランドコンセプトを相手取り訴訟の提起を行い、現在係争中ではありますが、当該訴訟の結果次第では回収不能となる見込額について、貸倒引当金繰入額として 1,506 百万円（連結および個別）を計上いたします。

##### (4) 減損損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき当社グループが保有する土地、建物等の固定資産の一部について、減損損失として連結 2,861 百万円、個別 2,783 百万円を計上いたします。

## 2. 平成 20 年 8 月期通期業績予想の修正

### (1) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A) (平成 20 年 4 月 14 日発表)	610,000	17,700	18,200	12,000	7,742.31
今回修正予想 (B)	604,000	15,400	16,100	4,100	2,645.29
増減額 (B - A)	△6,000	△2,300	△2,100	△7,900	△5,097.02
増減率	△1.0%	△13.0%	△11.5%	△65.8%	△65.8%
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 8 月期)	542,294	16,002	17,448	8,146	10,772.56

### (2) 個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A) (平成 20 年 4 月 14 日発表)	493,000	15,800	16,600	11,300	7,290.67
今回修正予想 (B)	489,000	15,400	16,600	2,200	1,419.42
増減額 (B - A)	△4,000	△400	-	△9,100	△5,871.25
増減率	△0.8%	△2.5%	-	△80.5%	△80.5%
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 8 月期)	446,409	13,290	15,262	7,458	9,862.76

※1株当たり当期純利益の前回発表予想数値については、平成 20 年 6 月 9 日付の新株式発行 163,500 株分を含めた期中平均発行株式数より算定し記載しております。

※平成 19 年 9 月 1 日付をもって普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割しております。そのため、平成 19 年 8 月期に係る 1 株当たり当期純利益は、当該株式分割が行われる前の数値で記載しております。

### (3) 業績修正の理由

売上高につきましては、第3四半期以降のサブプライムローン問題の深刻化の影響や、原油価格の高騰等もあり、夏商戦に見込んでいた北京オリンピック需要が期待ほどには盛り上がらなかったことから、予想を下回る見込みであります。

営業利益、経常利益につきましては、売上高が予想を下回ったことに加え、連結子会社の株式会社ソフマップにおいて夏商戦における積極的な施策等に取り組んだことによる販促費の増加、同じく日本BS放送株式会社において昨年12月より放送を開始した「BS11」が、新規参入組のため認知度の向上に時間を要し広告収入が伸び悩む一方、番組制作費用が高止まりしたことから、予想を下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、匿名組合清算配当金49億20百万円を特別利益として計上する一方、前記のとおり特別損失を計上することから、予想を下回る見込みであります。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以 上